



5・6月の
まちのわだい



役場の新人紹介

- ①氏名(年齢)
②担当課③出身地



- ①葛西 美祿 (29歳)
②生涯活躍のまち推進員
(地域おこし協力隊)
③札幌市

移住してきて日も浅いのでまだ右も左もわかりません。いち早く町のこと、仕事のことを覚え、町民の皆様、並びに町の発展のため頑張りたいです。



- ①福原 英範 (47歳)
②企画財政課(道派遣職員)
③苫小牧市

皆さんはじめまして。6月から役場に勤務しています。私もそうですが、住んでいる方々が住みやすく、人に自慢したくなるようなまちづくりに微力ながら尽くすことができたいと思っています。グルメや温泉が大好きです。いろいろ穴場を掘り起したいですね。



- ①荒井 瑞枝 (39歳)
②幼児教育推進員(地域おこし協力隊)
③大阪府和泉市

毎日たくさんのお話を吸収していく子どもたちと共に成長し、お子様・保護者様にご安心頂けるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

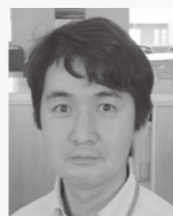


- ①森 典子 (31歳)
②社会教育推進員(地域おこし協力隊)
③新潟県新潟市

みなさん、初めまして！5月のGW中に、新潟から上士幌町へ引っ越ししてきました。森典子です。これから読書コーディネーターとして、読書に関わるイベントの企画等に挑戦し、「読書って楽しい！」といった声を広めていきたいと思っています！これからよろしくお願いいたします。

地域を変えていく新しい力

地域おこし協力隊活動報告



TITLE: 3年目の上士幌

記:生涯活躍のまち推進員 安田 涼

上士幌に来てから早2年、周りの人に助けられたり励まされたり大根もらったりアスパラもらったりウドもらったりと、小さな町だからこそ、人の支えがあって生きているということを実感する日々です。

まちづくり会社の業務でも、たくさんの方が応援してくれたり協力してくれたり片肌脱いでくれたりしています。見えないところでもたくさんフォローいただいています。この場をお借りしまして、皆様ありがとうございます。

職員一同、よりいい仕事をしていこうと皆が支え合って試行錯誤しているところですので、どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

なお、会社はもうすぐ新事務所に移転します。いまの事務所のすぐ南、旧有沢呉服店の場所になります。町民の皆様気軽に立ち寄ってもらえる場になるようにとスタッフ皆で知恵を出し合いました。新しい拠点で気持ちも新たに、「まちづくり」の一助となるような活動を進めていきたいと思っております。もちろん、100人いれば100通りの町の作り方がありそうですが、まずは自分なりの答えを見つけられるように精進します。



▲いただいたウドの天ぷら



▲ただいま改装中



5/15 北澤さんトランポリン全道大会出場報告

5月11日から開催された第35回北海道ジュニアトランポリン競技選手権大会に出場した北澤星来さんが全道大会出場報告を行いました。

10歳以下の部に出場した北澤さんは「今回の演技は自分では10点満点中5点の演技だった。今度の大会は満点の演技ができるように頑張りたい」と話していました。



5/15 上士幌高校2年生乳幼児ふれあい体験学習

5月14、15日に上士幌高校2年生42名が二日間に分かれこども園を訪れました。教室や園庭で子どもたちと一緒に遊び交流しました。

参加した高校生からは「いままで幼児と接する機会がなかったので今回ふれあうことができとても良かった。年齢によって遊び方が違い、成長を見ることができた」と話していました。



5/26 バルーンスタンプ協同組合記念植樹

5月26日ナイタイ高原牧場にてバルーンスタンプ協同組合記念植樹が開催され、参加者29名が100本のアオダモを植樹しました。

バルーンスタンプ協同組合の野村理事長は「アオダモはバットの原料として活用されているが、使用できるまでに30年ほどかかる。子どもを育てるのと同じように見守っていききたい」と話しました。



5/31 緑の募金事業ほろんの森で植樹

5月31日ほろんの森で緑の募金事業の植樹が行われ、こども園の園児が参加し、カツラの樹を植えました。

役場農林課中村主事から「カツラは葉がハートのような形で、秋には黄色になり、甘いにおいがあるのでぜひ楽しんでほしい」と説明がありました。

参加した園児は「木を植えるのが楽しかった。きれいに大きくなってほしい」と話していました。



6/4 第55回上士幌町家畜品評会

6月4日JA上士幌町農村多目的広場常設家畜品評会会場にて、第55回上士幌町家畜品評会が開催されました。会場では牛乳、ヨーグルト、豚汁の無料提供や、農産物加工品の販売、トカトカ特製紅白パン福まき大会なども行われました。

見学に来ていたこども園園児は「とても楽しかった。黒い牛がかっこよかった」と話していました。

川柳

孫主役司会まかされ猛ダッシュ
なつぞらにこころ洗われ出勤だ
子どもより必死に走るお父さん

河村 一郎
大 喜代子
父

短歌

新学期いつもは遅れて行ける児の今朝もおくれ独りゆきたり
すり寄りてきしがやがては恐暴なさまになりくる愛猫怖し
ガスボンベの影くつきりと外壁に映して今日も晴れてくるらし
そわそわし涙しそうでわくわく感令和となりて老春のおごめき
小樽にて硝子工芸見て歩きカラフル細工の素晴らしきなり
小樽へ来水族館を見学するは高くジャンプするなり
敷地内の橋は新しく掛け替え中いつもの道も騒がしくなり
かあさんに小樽のグラスをプレゼント好みの青の記念の一個
白樺の皆と小樽にきて見たりいるかペンギン芸をするのを
異状なる暑さの去りし五月末服装えらびに迷う涼しさ
野球みる夫の傍ら歌誌を読むテレビの音の時に疎まし
火曜日は好みのアニメの放送日ビデオにとって何回も見る
白樺の見学旅行に参加して小樽の街を楽しみ歩く

本 間 乗 風
尾 野 真 弓
米 田 木 森 真 豊
松 木 田 木 森 真 豊
高 松 木 田 木 森 真 豊
小 高 松 木 田 木 森 真 豊
米 田 木 森 真 豊
石 川 森 松 木 田 木 森 真 豊
佐 藤 川 森 松 木 田 木 森 真 豊
瀬 戸 洋 明



◎ 今月は中学校の体育祭に取材に行きました。10年ぶりの母校の体育祭はとても懐かしく、自分のやってきた種目がいまだに続いているのは感慨深いです。私が中学時代に好きだった種目はタイヤ取り(体育祭写真右下)でした。足のあまり早くない私が唯一活躍できた思い出の競技です...Y

◎ 5月は妙に暑い日が多かったですが、6月になってからハッキリしない天気が続いています。所謂「蝦夷梅雨」でしょうか。夜の冷え込みも思いのほか厳しいので、暖房を焚いてしまいました。この時期に暖房を使うことに、少しばかりの罪悪感を覚えています。真冬に短パンでアイスを食べるアレです...T

令和元年 5 月末現在の 人口

| | |
|-----|---------------|
| 男性 | 2,444人(+3人) |
| 女性 | 2,555人(-1人) |
| 人口 | 4,999人(+2人) |
| 世帯数 | 2,569世帯(+6世帯) |

令和元年度 ふるさと納税寄付金

| | | |
|------|----------|---------------|
| 5 月分 | 6,396 件 | 99,992,680 円 |
| 累計 | 11,140 件 | 167,448,683 円 |

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。
※6月14日現在

- 上士幌町民憲章
- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
 - 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
 - 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
 - 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
 - 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

令和元年度 「上高たより」
上士幌高校です!

No. 15
令和元年
6月25日

文責：教頭

TITLE:「上士幌学」の授業を紹介します

今年度で4年目になる学校設定科目「上士幌学」。今年度はさらに趣向を凝らし、様々な方々の協力も得て授業を展開しています。たとえば「ふるさと納税」と「新エネルギー」という題材では役場企画財政課の梶主幹と老月主査、「移住者に聞く」では小嶋さんご夫妻と高橋社教主事をお招きして講話をいただき、興味深く面白い内容に生徒も興味津々でした。アイヌの食文化では女性ハンター高野さんのお話に加え、金亀亭さんのご協力により実際に鹿肉の試食タイムもあり、大いに盛り上がりました。その様子は勝毎や道新の紙面でも紹介されています。

今後も地元の素晴らしさを学び、是非活かして行って欲しいと思います。



△けん玉を持つ高橋主事と高校生



△老月主査の説明を聞く



△鹿肉はどんな味なのか?

上士幌高校新聞局通信



高体連集約大会がありました

文責 加藤 駿

5月23日から高体連集約大会があり、上高は卓球・テニス・サッカー・女子バ



△1勝を挙げた宮部・名波組

スケに出場しました。私は札内で行われた卓球部を担当しました。全道出場は逃しましたが、3年女子の中森栞菜主将が2回戦に進出したほか、1年生男子の松川洸士君が4回戦まで勝ち上がりました。

その他の成果としては、硬式テニスのダブルスで名波星来美・宮部舞葉組が1勝、シングルスで宮部さんが1勝をあげています。軟式テニスと女子バスケ、サッカー(士幌高校との合同)は残念ながら初戦敗退でした。



△3年間の集大成に臨む中森組

来年はぜひ全道大会に行って欲しいと思います。